けねべつ JA広報

2 2009 No.255

2 4 計根別小スケート大会

1 19 女性部新年親睦会

2 9~ 所得税・消費税申告面談

女性の活動いきいきと

『レディースフェスタ』

十二月二日中標津町交流センターで部員四十八名が参加し女性部、最大イベントでもある「レディースフェスタ」を開催しました。

内容は、各支部の手作り料理一品の試食会と部員や個人が作った「作品」の出展、全員でのゲーム大会、家庭で使わないものなどを持寄ってチャリティーを行いました。

各支部部員が力を入れ前日から当日にかけて作った料理は、「豚汁」「生キャラメル」「シチュー」「ゴマ豆腐」「豚肉の紅茶煮」「スウィートポテト」「二色ゼリー」の七品の試食とおにぎりの昼食です。

どれも「美味しい料理」に皆夢中で取ってます

寒い日だったので、温かい「豚汁」と「シチュー」は皆に喜ばれ、おかわりをするくらい好評でした。

「生キャラメル」は、今話題の品だけあって、一個だけでなくまとめて持っていく人たちがほとんどでした。他の料理も人気があり三十分ほどで、ほとんどの試食品が無くなっていました。

午後からはゲーム大会を行い団体と個人戦で大盛り上がりとなり部員同志の交流も深まり、とても良いフェスタとなりました。

途中で「ちぎれ」ないように必死!!

100点に届け〜♡

部員から

「手の込んだ料理があり、とても美味しくて良かった。」

「チャリティーでは、良いものがあればオークションなどで買ってもらうと盛り上がるのでは?」

「ゲームの数が多く、和気あいあいとし、ゆとりのあるゲームをし動くゲームであれば上履き持参の連絡。」

など他いろいろな意見がありました。

この反省をふまえて次回も楽しく盛上がれる様に考えたいと思います。

『酪農経営方針』について学んだ女性部新年親睦会

一月十九日、女性部全体の活動として、「新年親睦会」を農協二階会議室で開き、部員二十六名が参加しました。

当日は朝からの雪で開催が心配されましたが、雪も止み無事行う事ができました。

午前中は、中瀬営農部長と谷川販売部長による「女性向け！営農事業説明会」と題し、基本的な酪農経営についてわかりやすく説明して頂きました。

「奥さん方には、突発的な支出に備え貯蓄を実践してください」との提言を受け、今後の家計費を見直すきっかけになりました。

部員からは、経営のについての様々な質問があり、部員も積極的に経営に参画していることがわかりました。

説明会の後には、纐纈組合長と富田参事にも参加して頂き、昼食を一緒に食べながら質問をしたり最近の話題について会話が進みました。

食事を終えた後はビンゴゲームを行い、みんなが景品を手にして、新年親睦会を楽しく終えることが出来ました。

経営方針について学ぶ部員

照れながらも、組合長にお茶つがれてます

フレッシュミズ

☆クリスマス☆料理作り

大沢智子

フレッシュミズ料理交流会を十二月十六日に交流センターで行い、部員十一名と子供二名、また未加入の方二名にも参加して頂きました。

今回は、もうすぐクリスマスと言うことで「米粉を使ったケーキ」「苺のサンタクロース」「苺のキャンドル」「餃子の皮ピザ」の四品をつくりました。

作業時間が短時間しかない中で、まずケーキのスポンジを皆で作業分担しながら三台分を焼いている間に、他の三品を作りました。

「キャンドル」はロウの部分になるパンが小さく、火となる苺が大きかったために、ちょっとバランスの悪いものになりました。

「苺のサンタクロース」は苺の間にバナナと生クリームを挟むとというとても簡単な作り方ですが、とても可愛く出来上がりました。

ピザも手際よくアッと言う間に出来ました。

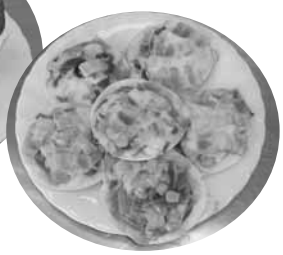
調理後は皆で試食をしましたが、食べるのがもったいないくらいの出来でした。

米粉を使ったケーキは小麦粉のスポンジより『フワフワ感』があり大好評でした。

上手くスポンジが切れるかな!?

苺のサンタクロース

苺のキャンドルライト



作って食べて満足している様子

農協役員推薦会議委員のご紹介

任期満了に伴う農協役員推薦委員が、このほど下記のとおり選任されましたのでお知らせ致します。

地区	旧委員	新委員	地区	旧委員	新委員
計根別	飯島芳一	**須永昌和**	大成	宍戸浩一	**宍戸浩一**
	葛西秀夫	**本田芳明**		苅田秀一	**石毛一幸**
	本田芳明	**宮武義雄**		権隨直美	**石毛剛**
上標津	小田正美	**生田勲**		宮下正則	**西崎真澄**
	和泉光広	**和泉光広**		石毛一幸	**宍戸一哉**
西竹	笠井淳次	**杉本公也**	本別	相澤親	**相澤親**
	深瀬行雄	**加藤好広**		中垣博志	**中垣博志**
	近藤豊	**須藤要**		林満治	**林満治**
東西竹	須崎智	**須崎智**	理事会	有原国男	**漆原功**
	唐崎幸司	**滝本和男**		太田誠	**太田誠**
養老牛	株田勝則	**助口明**		鹿野一博	**鹿野一博**
	株田昭夫	**株田勝則**			
	影山智	**菊地修一**			
	百崎健	**本田信幸**			
	味元正一	**倉田勇**			

※任期H20.4.1～H23.3.31

計根別中の川目君、エムウェーブで力走！

全国スケート大会であと一歩入賞

計根別中学校二年の川目健（たける）君（中標津スケート少年団所属）はこのほど北海道代表として、長野県で開かれた全国中学スケート大会の一五〇〇mと三〇〇〇mの2種目に出場。残念ながら予選通過は果たせなかったものの、一五〇〇mでは入賞（二四位）まであと一歩の二五位と、二年生ながらも全国の強豪を相手に大健闘しました。

大会は二月四～七日、オリンピックの舞台ともなったエムウェーブで開かれた夢舞台。先の全道大会（苫小牧市）の三〇〇〇mで見事に決勝進出を果たした川目君は、中標津町内の他の四人とともに道代表に選ばれました。

川目君は「会場の氷は良く滑ったけど、予選通過できず全国大会は厳しい所だと思いました。来年はぜひ入賞できるようにがんばりたい」と、力強く抱負を語ってくれました。

先頭に立つ川目君（左）

会場をバックに町内から出場した5人で（右から2人めが川目君）

平成20年度 青年部大会が開催されました!

開催テーマ

管内大会 “CHALLENGE” 未来に伝える農業である為に

全道大会 “With you” 未来を創る

本年度の青年部大会が開催され、管内大会が十一月七日中標津町寿宴で、全道大会が札幌市パークホテルで行われました。

管内大会では役員を中心に若手部員も参加し、分科会では思い思いの意見を述べました。

青年の主張では久保拡伸君が壇上に上り、”『待つ』ではなく『創る』青年部”と題して堂々とした姿勢で発表。アームレスリング大会では杉本聡史君が優勝し、全道大会への出場権を獲得しました。

また、全道大会は十二月四～五日に行われ、鈴木部長他五名が参加しました。初日は青年の主張・活動実績発表会・分科会・アームレスリング大会。二日目は野球解説者の岩本勉氏による記念講演が行われ、参加した部員は有意義な時間を過ごせた二日間でした。

管内大会で青年の主張!久保君

全道大会で腕相撲!杉本君

青年部会員交流 ”体力と知力”

本年度の会員交流事業として、ミニバレー大会と雪印乳業の中標津工場の視察を企画実施致しました。

ミニバレーは十二月三日東部地区の青年部員が企画担当、試合当日は各支部からスポーツ好きの部員が集まりました。地区別チームと混合チームを編成し、白熱したゲーム展開となりました。

雪印の視察には好奇心旺盛な部員が集まり、チーズ生産ラインの説明をする雪印職員の説明を興味深げに聞き入っていました。

ミニバレー
陽気な計根別支部チーム

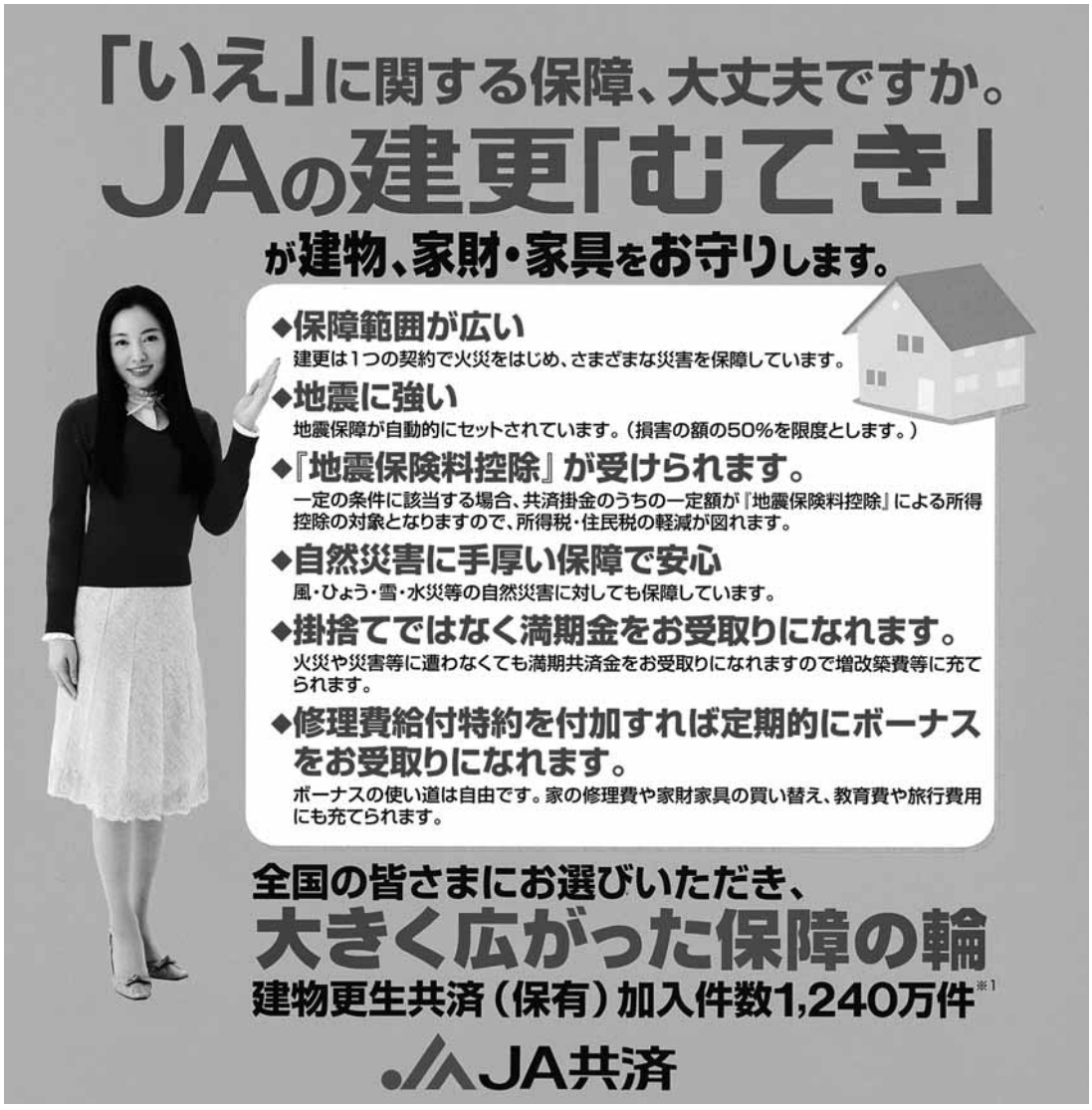
雪印視察　担当者から説明を受ける参加者

THE FRIEND CONNECTION

宍戸一哉（大成支部）
S45.10.6生　38歳

Q1．あなたの趣味は？
A1．競馬
Q2．あなたの得意技は何ですか？
A2．4着の馬を当てること
Q3．好みの女性は？
A3．蒼井　優ちゃん
Q4．将来の目標は？
A4．安定経営
Q5．あなたの夢は何ですか？
A5．世界平和
Q6．友達を紹介してください
A6．松本貴志くん
Q7．なぜ松本くんを選んだのですか？
A7．本人に「同級生だから紹介してくれ！」と頼まれたから（笑）

目に入れても痛くない!?ほど可愛い娘達！
次女・桃花ちゃん（左）長女・陽（はる）ちゃん（右）



乳牛飼養スタイルの違いやチーズ消費の多さに驚き

（社）全国酪農協会主催第42回ヨーロッパ酪農視察団参加報告記
理　　事　柵　木　真喜夫
畜産販売課　太　田　　孝（報告）

はじめに、この視察に参加する機会を与えて頂きました組合をはじめ、役職員の方々、日頃お世話になっております組合員の皆様に、書面をお借りしお礼申し上げます。

【九月九日㈪】　空路中標津より羽田空港に移動し成田市で前泊。

【九月十日㈫】　成田空港に集合後、特別待合室にて結団式を行い、柵木理事が団長に就任。日本時間午後一時にスイスへ向け出発。途中オランダのアムステルダムで乗り継ぎし、合計約十三時間のフライトでスイスのチューリッヒへ到着。専用バスにて宿泊先のルツェルン市アストリアに到着。現地時間二十三時五十五分になっていました。

【九月十一日㈬】　専用バスにて出発。ルツェルンにある十四世紀につくられた木造のカペル橋、ルンゲル湖を見学しながら、インターラーケンを経由し、グリンデンワルドへ。登山電車で標高三、四五四ｍのユングフラウヨッホへ上る。展望は素晴らしかったが、途中二、八〇〇ｍ過ぎたトンネル内の二ヵ所の駅で歩いたときに高山病の初期症状（頭痛）を自覚する。最高地点（三、五七三ｍ）までのトンネル内の歩きは、後ろからゆっくりついて行きました。天候に恵まれ、四、〇〇〇ｍを超える雄大なスイスアルプスの中に、身をおくことができました。

登山電車で麓に下り、十五時三十分過ぎに、山岳酪農家のアルフレッド・ゴルブ氏宅を訪問。その日はインターラーケンに宿泊。ホテル近くのレストランで楽器の演奏やヨーデルを聞きながらの夕食。ホテルに戻り、有志でお酒を飲みながら親交を深めました。

スイス山岳酪農家ゴルブ氏

・ルッチェンタールにあり、標高七五〇ｍに位置。
・夫妻と二男二女の六人家族。
・搾乳牛二十頭・育成牛二十頭・子牛八頭を飼養（シンメンタール種が主・ホルスタイン種もいる）。
・生産乳量六十六ｔ（一頭当たり年間三、三〇〇㎏）
・夏場には放牧（標高一、六〇〇ｍ）し、山岳チーズ作りをしている。

・政府の農業構造改革により、三分の一の農家が廃業し現在は兼業農家が多い。ゴルブ氏も、冬場はスキー場で働く兼業農家。

※山岳チーズ作りについて

当日説明して頂いた、リッキーさんが地域七戸の六十頭の搾乳牛を、夏場の一〇〇日間預かり搾乳とチーズ作りをする。七戸の農家は二週間に一回、山の上で搾乳牛やチーズを確認する。七戸それぞれがチーズを受けとり、市場（いちば）で消費者に直接販売または個人売買を行っている。

チーズの生産量（受け取る量）はゴルブさんで一日最大十kg、視察当日は三kgとのことでした。【補足】

県から補助金を受けるため、地域として年二回の書類申請をし、地域内で分けているとのこと。（搾乳か育成かによって額も変わる）

リッキーさん（左）とゴルブ夫人

搾乳牛舎スラット方式（ふん尿処理）

シンメンタールの子牛

現役の牛乳

チーズ工房

大鎌で自宅の周りの草地を刈り取り、干草として牛舎に貯蔵

牧草畑

搾乳牛舎

ミルカー

牛舎

氷河の溶けた水の混ざった川（住宅・牛舎の前を流れる）

住宅

販売用チーズ

ビール粕

【九月十二日㈮】 専用バスでチューリッヒ空港へ移動し、空路ドイツ・ミュンヘンへ。到着後、専用バスで移動し、マシーネンリング農業機械銀行を訪問（エバスベルグ）しました。

マシーネンリング（農業機械銀行）

・一九六五年設立の有限会社。現在会員数は一、二〇〇。会員の合計敷地面積は三〇、〇〇〇。九九%の農家が会員。

・各会員が所有する農機具を利用し、依頼された作業を実施する（オペレーターは機械の所有者）システム。そのためのコーディネイトがマシーネンリングの役割。

事務所外観

説明を受ける柵木団長

マシーネンリング（農業機械銀行）の説明をするガイスベルガーさん

・農機具貸し出しの料金表（タリフ）を作成し、会員へ配布。
・ヘルパー農業士（州認定のヘルパー）などの人材派遣も行う。

移動中の車窓からは、面積は広くはないがデントコーン畑が点在し、道央や斜網地方の酪農地帯を思い出しました。また次の目的地のパイティングに向かう車窓からは、放牧地での牛の姿や、ラップサイレージが積まれた農場、採草地が広がり、私たち根釧の酪農地帯と非常によく似た風景が広がっていました。また道路脇の木々も、道東で普段目にしているものが多く、北海道を走っているようでした。

途中パイティング町近くのヴィース教会に立ち寄る。この教会は村のキリスト像が涙を流したという奇跡から、その像を祭るために一七四六年に建てられた教会で、天上を象徴した天井の画は、圧巻でした。

農家民宿ホルさん宅で民泊

パイティング町のレストランで町の観光局長を交えての夕食後、宿泊先である酪農家のホルさん宅（育成牛四十二頭を飼養、二年前に搾乳中止）へ夫人が運転する車で移動。到着後三十分程リビングで談笑していると、ご主人と男女の子の二人のお子さんが合流し、楽しい時間を過ごしました。一〇〇%柵木理事の通訳のおかげです。ホルさん宅には日本からの宿泊者も多く、日本地図を広げると、宿泊者の出身地・名前が記されており、別海町や網走管内の方の名前もありました。息子さんは、アイスホッケーの地域代表選手で、将来は、父の仕事である建築関係に進みたいと話す十七歳の青年でした。ちなみに、知っている日本人はサッカー選手の「タカハラ」と答えてくれました（サッカーの選手です）。

宿泊した部屋

民泊したホルさん一家と

住宅前で

【九月十三日㈯】 起床後、牧場の周囲を散策。近くの狭い草地で、ワゴンを牽引し青草を載せているのを見る。その後、六時半位に牛舎を見ていいと昨日話していたので、牛舎をのぞく。人が作業している気配がないが、頭あわせの牛舎で左側に搾乳牛が二十頭位並んでいる。右側に育成牛がおり、真ん中通路に青草が下ろされていて、牛が青草を食べていました。私たちの朝食は、パン・チーズ・ハム・卵等でしたが、スイス・ドイツと視察を続ける中で、一番美味しく日本人の口に合うものでした。ホルさんは、「私の趣味で宿泊を受け入れている。このあたりでは、農家へ嫁ぐことは、最良なことよ」とも話してくれました。午前九時過ぎに他の団員と合流し、私の今視察のメインと考えていた民泊が終わりました。

次にパイティング町の観光協会で町の概要の説明を受け、バスで移動し、ダイレクトマーケティングの説明をホルさん宅で受けました。説明後に、くるみパンと手作りりんごジュースを試食しました。続いてバイオガス施設を所有するシェレさんを訪問。今回の視察で一番施設も牛もきれいで、工具なども使い易く整理され、素晴らしい農場でした。当日に視察が決まったにもかかわらず、快く受け入れて頂き、視察できた私たちも運が良かったと思います。

昼食後、ドイツ最後の視察先であるオーガニックファーム認定のマイヤーさんを訪問。後ミュンヘンへ移動。夕食は、ビアホール「ホフブロイハウス」にて本場のビールとソーセージを堪能。ステージではバイエルン地方の民族舞踊、アルペンホルン楽団の演奏に、旅の疲れも手伝い、この日が一番酔いました（太田）。

ダイレクトマーケティング

・パイティング町では月に一度（第一金曜九：〇〇～十二：三〇）農家の主婦たちが手作りした品々を直接販売する農民市場「ファーマーズマーケット」を一九八八年より開催。
・町役場の応援もありマーケットを開催する場所代は無料。
・卵、肉、魚、パンなど食料品が売られている。ホルさん宅は、くるみパン、ドーナツを販売。

バイオガス施設を所有するシェレさん

・家族構成はシェレさん夫婦と息子さん夫婦の四人。シェレさんは五十八歳で、息子さんには四十九歳に経営を任せたそう。
・七十四　の牧草地、十二　のとうもろこし、四　の森林を所有。

・搾乳牛一〇〇頭、育成牛一〇〇頭を飼養。
・六〇～七〇％が自給飼料。穀物類やビール粕、ミネラルなど微量要素を購入。
・一頭あたり現在八、〇〇〇kg（ホルスタイン種・ブラウンスイス種）。将来はブラウンスイスのみで一〇、〇〇〇kgを目指したいとのこと。乳価は一キロ三四セント（約五四円）
・バイオガス事業は、一五〇キロワット／h発生する電力を二十四時間三六五日、二十年間政府保証の二十三ユーロ／キロワット（三七円）で売却。バイオガス向けのコーンを栽培するなど、経営としても成立しているようで、バイオガス電力販売額と酪農販売額のウエイトはほぼ半々だそう。
・三年前に牛舎とバイオガス施設を新築し、費用は一一〇万ユーロ（約一億七、六〇〇万円）。州からの補助金もいくらかあったとのこと。

シェレさんの牛舎

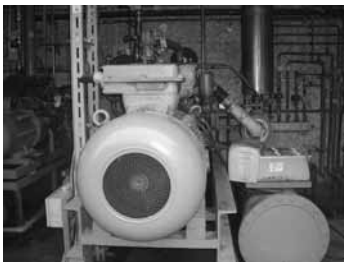
ダイレクトマーケティングについて説明するホルさんと柵木団長

シェレさん

整理された工具類

ロータリーパーラー

バイオガス施設（下・左・左下も）


バイオガスを利用した発電機

ブラウンスイス種（シェレさん）

マイヤーさん（オーガニックファーム）

・家族構成はマイヤーさんと息子（二十五才）と義理の父母の四人。（夫は七年前に他界）
・五十　の牧草地、十　の森林。乳牛五十頭、育成五十頭の飼養（ホルスタイン種とブラウンスイス種）有機農業を行っている。日中は放牧。フリーストール牛舎（築三十五年）。
・オーガニックファーム認定には二年間を要し十二年前に認定された。
・年間三二〇t生産。二〇一五年まで出荷制限あり。

マイヤーさん

パーラー（築35年）

・乳価一キロ三十五セント（約五十六円）。乳価にプレミアがつくと一キロ五十セント（約八十円）
・機械の整備・修理は自ら行うとのこと。

牛舎内

親牛は放牧中でした（1㎞位先）

【九月十四日㈰】 六：三〇よりシャルルドゴール空港へ向け移動。途中パリ中心街の中華レストランで昼食。バスで凱旋門、シャンゼリゼ通り等を見た後、エッフェル塔を視察・記念撮影をし、ルーブル美術館を視察。モナリザ、ミロのヴィーナス等を観賞。モナリザの流し目と目をあせました。夕食後希望者のみ世界的に有名なキャバレー「リド」でレビューを観賞。

【九月十五日㈪】 専用バスで世界最大級のランジス市場を視察。昼食後、ランブイエ国立農場を視察。

ランジス市場

・約一、三〇〇社の会社と約一三、〇〇〇人が働く。
・魚・肉・野菜と果物・乳製品・花部門の五つに分かれる。年商七十二億ユーロ（一、五二〇億円）で、その半分は野菜・果物部門。

ランジス市場案内（エレベさん）

チーズ

肉

ランブイエ国立農場・ジェラルドさん（左）とフレデリックさん

野菜・果物

・フランスは四〇〇種類のチーズがあるチーズ王国。
・市場でセリはなく、相対取引。日本の商品はない。

ランブイエ国立農場

・一七八三年国王ルイ十六世が羊毛の品質向上の実験農場として設立。
・毎年七万人の訪問者があるが、五万人が家族で来る人たちで、二万人が児童、生徒、先生など。
・三〇〇　の土地に六〇〇頭の羊、五〇頭の乳牛（ホルスタイン）の他、馬、鶏、肉牛、ヤギ、豚、うさぎ等を飼育。
・約二十年前からバイオロジカル農業（化学肥料を使わない農業のこと）を実践。
・乳量は一頭あたり一日二〇～二五kg 乳価は一キロ三五～四〇セント（約五六円～六四円）
・生乳は、農場内の売店（水～日曜営業）と農協に販売している。

ホルスタイン種を飼養（牛群はよくそろってました）

作業機

【九月十六日㈫】 午前に農業高校を視察。視察後、校舎の食堂にて昼食を頂く。午後アールモアネ牧場を視察。

農業高校（男女共学全寮制）

・一八九八年創立。校舎は二ヶ所あり、今回はブレモンティエメルバル校を視察。生徒数一一〇人で半分は農家の子供たち。
・フランスの乳肉兼用のノルマン種を七十頭飼養。（蛋白の量が多く、丈夫である）四月～十月まで放牧。一頭あたり年間六、〇〇〇キロ生産。初産分娩平均三十カ月。

・七十五　牧草地、十三　小麦、十七　とうもろこし、十　がりんご園。
・生乳二五〇tはチーズに加工され、一六〇tはダノン社に出荷。
・乳価は一キロ四十セント（約六十四円）、小麦と物々交換で配合飼料を貰う。小麦は一キロ三十セント（約四十八円）

アールモワネ牧場（オーガニックファーム）

概要：
・八十　の牧草地、二十四　の大・小麦、六　のとうもろこし。
・七十五頭の乳牛飼養（ホルスタインとノルマン種）一頭当たり年間五、五〇〇キロ生産。
・一九九六年に親から経営を引き継ぐ。そのころから有機農業をする。農薬・化学肥料は使わず、サイレージの給与量の制限もある。
・年商二五〇、〇〇〇ユーロ（約四、〇〇〇万円）
・全農業者に対し政府は助成金として一　あたり二五〇～三〇〇ユーロ（約四〇、〇〇〇～四八、〇〇〇円）。（アールモワネ牧場では、約四八〇万円）
・生乳一〇〇tはチーズ、五〇tはバターとクリームに自らのプラントで加工され、二五〇tはダノン社へ販売。
・有機農法維持の原則は、①付加価値を高めること（特化された乳製品の生産）②輪作の厳守（グラス三年、コーン・麦類が三～四年の六～七年サイクル）③雑草処理（それぞれの作物にあった処理、機械の工夫）との事。農家としてのあり方生き方の信念として有機農業に取り組んでいると話されました。

農業高校（全寮制）

サンソンさん

アールモネアさん
チーズ工房前で

ノルマン種

ノルマン種

アールモワネ牧場視察途中で

パーラー

【九月十七日㈬】午前、ベルサイユ宮殿を観光。パリ市内でショッピング後、シャルルドゴール空港へ。十九：二十八帰国の途へ。

【九月十八日㈭】十四：〇五　成田空港に到着。通関を終了後解散。夕方、新千歳空港へ（札幌市泊）

【九月十九日㈮】丘珠空港より中標津空港へ。

おわりに

研修視察を通じ学んだことをいくつかあげますと、放牧の期間が長く、濃厚飼料を与えない期間も長くとるというスタイルに驚きました。気候風土は、北海道に似ている部分もありましたが、チーズなどの消費量の多さなど見習うことはたくさんあるということもわかりました。この研修で学んだこと、経験したことを、今後の業務に生せるよう精進してまいります。以上報告を終わります。

家族に「見える」「見せる」情報管理を！

新年を迎え、新しい経営目標のもとにスタートを切ったことでしょう。
その思いが家族・従事者全員の決意になっているでしょうか？
経営管理の上手な農場は、従事者全員で情報を共有し、知恵を出し合い、力を合わせて改善目標に取り組んでいます。そのためには情報を解りやすく、シンプルに管理することが必要です。経営改善に活かされている事例を紹介します。

1　経営改善に活かされている事例（釧路管内）※1

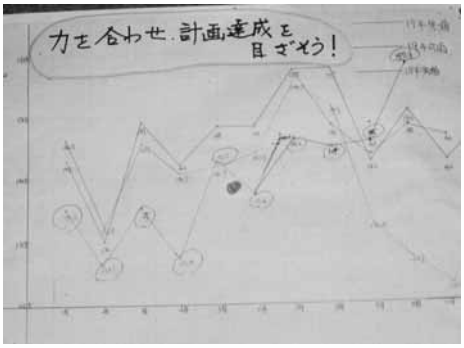


写真1　月別：計画生産乳量と実績乳量の推移を壁に貼っている

（1）最低限共有すべき情報

クミカン報告票や乳検情報には、従事者全員が把握するべき数字が詰まっています。全員が全てに目を通すのは大変ですが、専用のファイルに入れたり、壁に貼るなど、「見せる」「見える」状態にしておくのが重要です。

「見せる」事例として、昨年の月別乳量実績と今年の計画乳量をグラフに書き込み、事務所の壁に貼っています（写真１）。これにより従事者全員の改善意識が高まっています。

ファイルの中身は…
① 営農管理報告票
② クミカン報告票
③ 診療代等請求・領収書
④ 共済金支払通知書
⑤ 人工授精精算書
⑥ 畜肉販売代金明細など…14種類に分類

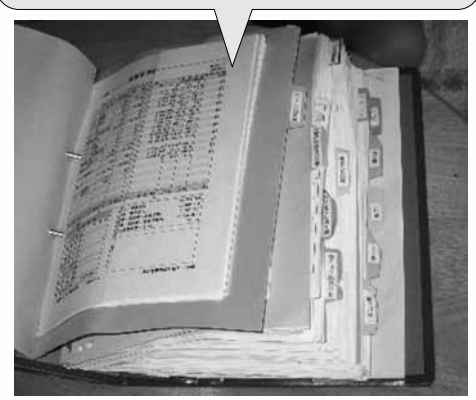


写真2　伝票類を一冊のファイルに綴じ

（2）欲しい情報を30秒以内に取り出せる管理

例えば、クミカン報告票を見ていて、先月の養畜費が異常に高いと感じたとき、費用の明細がすぐに取り出せるでしょうか？分娩後の診療代が高いとわかれば、早期の予防対策につながります。

また伝票類を無くさずに保管することが必要ですが、保管したまま目を通さないなら意味がありません。月に一回は、整理したクミカン報告票と伝票類を照合することで、改善課題が見えて来たり、従事者と問題意識を共有し、改善に向けた話し合いの材料にもなります。

事例として、伝票類を一冊のファイルに項目別に整理してあり、見たい数字を短時間で探すことができます（写真２）。整理作業を通じて経営の中身を知ることができ、経営参画のきっかけにもなっています。

2　整理整頓の習慣づけ

いらないものを捨てるのが「整理」、必要なものをすぐに取り出せるのが「整頓」です。「整理整頓」することで、煩雑になりやすい書類などの所在が誰にでもすぐ分かるようになります。

標津町の管野牧場では、収納棚に書類を分類して入れています（写真３）。納品書、請求書、領収書など誰が受け取るか分からない伝票も、所定の場所を決め整理しています。いつも整理整頓を心がけ、必要な書類の場所が一目でわかります。

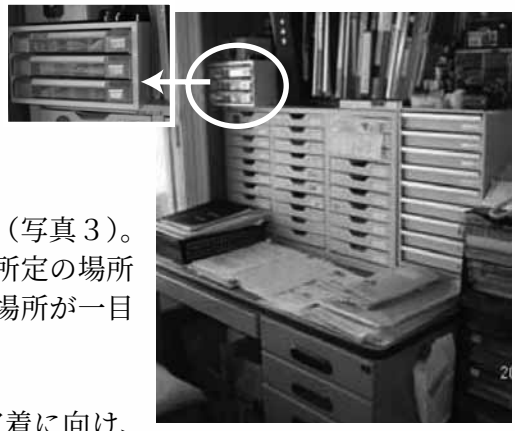


写真3　書類を分類棚に整理する
左上の棚が伝票専用
（標津町　管野政勝牧場）

従事者の中で担当者を決め、「見える」「見せる」情報管理の定着に向け、今年から取り組んでみてはいかがでしょうか。

※1）情報協力：釧路農業改良普及センター

STOP! 振り込め詐欺

「振り込め詐欺」が急増中！

振り込む前に、ご家族や警察、金融機関などにご相談ください。

金融犯罪の番犬 BANK-KEN

オレオレ詐欺の手口

決してひとりでは振り込まない！

身内を騙った者から電話があり、

緊急事態を告げて振り込みを急がせます。

後日、本人に確認して詐欺にあったことが発覚します。

現在、「振り込め詐欺救済法」に基づく被害金支払の手続が行われています。
被害に遭われた方は、振込先の金融機関へご連絡ください。

銀行協会職員等を騙る詐欺・・・全国で被害発生中!!

銀行協会職員などになりすまし、暗証番号などを聞き出したり、キャッシュカードを預かったりして、預金をだまし取る事件が全国で多発しています。

銀行協会職員などが暗証番号をお聞きしたり、カードをお預かりするようなことは一切ありません。

全国銀行協会・警察庁・都道府県警察

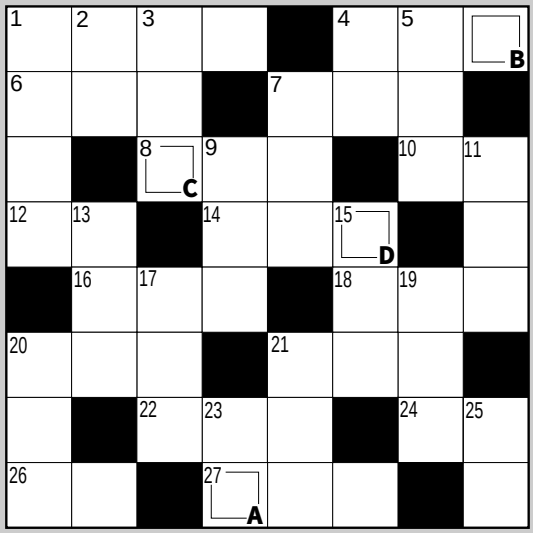
クロスワードパズル

【タテのカギ】

1　蒸気機関車
2　タイトル
3　ホウキに乗って登場することも
4　マスク
5　地下道を造るのが得意
7　ヤマがはずれて最悪
9　山のすそ野
11　慈善のための市
13　予備
15　指折り
17　堤防
19　お手玉の中に入れることもある豆
20　ナンバーワン
21　水はこれと水素の化合物
23　ここを開けて空気の入れ替え
25　車のハンドル

【ヨコのカギ】

1　大豆になる前にゆでて食べる
4　物差しには１センチに10個ついている
6　台所仕事
7　寝る時に使う道具
8　真夜中
10　ロバと馬の雑種
12　不在
14　苦情
16　犬や猫が一般的のようです
18　旅行
20　指先を使うマッサージ
21　人に指示を出す
22　その数より少ないこと
24　液体が気体に変わる現象
26　黒石と白石の戦い
27　履き物は脱いでください、○○○厳禁



●正解者５名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、組織広報係までＦＡＸ（78-2556）お願いします。

《締め切り》平成21年３月10日まで
当選者の発表は「けねべつ」３月号誌上

あとがき

今年の冬は、近年には珍しい大雪。毎週のように重い雪がドッサリと降り、「除雪はもううんざり」と感じてらっしゃる方も多いことと思います。この湿ったドカ雪が多い理由として、今冬は冬型の気圧配置が安定せず、北海道を通過する低気圧が例年以上に多い（北海道新聞）ことだそう。

これまで、冬の北海道を表現する代名詞でもあった“パウダースノー”という言葉は、地球温暖化が進む今となっては、もはや死語となってしまうのでしょうか。

クロスワードパズル１月増刊号の答え

ゴライコウ

抽選の結果下記の方が当選いたしました。
プレゼントを組織広報係でお受け取り下さい。

北村　壮さん　石邑有紀恵さん　太田　幸一さん
大槻みち子さん　筒井　悌紀さん

きりとり線

クロスワードパズル

住　所

氏　名

ＴＥＬ

答え

A	B	C	D

ご意見をお寄せ下さい。（季節の便りなど何でもけっこうです）

きりとり線

〝雪中遠足〟

50年ほど続く計根別中の伝統行事「雪中遠足」が１月27・28日の両日、学校から養老牛温泉までの往復16キロで行われました。

昨年は途中で中止の無念もあり「今年は絶対に実施したい」という生徒たちの願いが天に届いたのか、当日は晴天という最高の条件の中で全員無事にゴールすることができました。

（写真提供：計根別中）

組合長の公務によりモーの眼差しはお休みします。

2009 2 No.255
けねべつ JA広報

編集／計根別農業協同組合 営農部 組織広報課
発行日／平成21年２月27日